

くじら組だより

令和 7 年 1 月 22 日
天沼保育園
くじら組

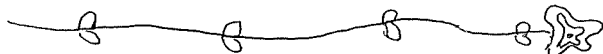


あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。保護者会のご参加ありがとうございました。今月のくじら組さんは劇遊びもしながら、お正月の雰囲気たくさん味わって過ごしていました。けん玉やコマ回しの挑戦や、書初めをしたり風作りをしたり、年賀状の返事をかいたり、みんなで楽しんでいました。この後は、怒涛のように2月と3月が過ぎていくことが想像できますが、一日一日みんなで大切に遊んでいきたいなと思っています。

【劇ごっこの様子】

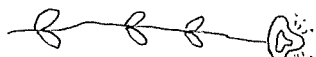


12月ごろから遊びだした劇ごっこですが、実は春にはもう劇ごっこのきっかけがありました。子どもたちと一緒に絵本を見て遊び中に「てぶくろ」の絵本も入っており、読み終わると「おしゅれぎつねよ あなたは」「ぴょんぴょんがえるです」「のっそりぐまだ わしもいれてくれ」「まんいんです」と絵本の真似をして遊んでいる子がいました。それを見て他の子も「ぼくにもきいて」「あなたは？」「〇〇です（←自分の名前）」と楽しんでいました。その楽しそうな様子を見ていたのか、くじら組さんの遊びやあそぼう会について、のっそりぐまから手紙も届き、みんな嬉しそうに返事を書いたり手紙を読んだりしていました。そんな中で12月に「今度の保護者会の後にどんな遊びを見てもらいたいかな」をみんなに聞くと「げきごっこ」の意見が出て、題材選びで多くの子が「てぶくろ」の絵本を選んだのでした。



劇ごっこを見せることが決まった後、みんなで遊び始めた時は一緒に絵本を見ながら台詞を言い合うのを楽しんでいました。そこから「おめんをつくりたい」「いしょうもほしい」「おおきなてぶくろをつくる」となり、劇ごっこに必要な物を作り始めると、その工作が楽しくなってみんな思い思いのイメージで衣装やお面を作り、見せ合ったり身につけてみたりして楽しんでいました。衣装を身につけて手袋の絵を置いてやってみると自然と動きが出てきて、手袋の中に入ったりむくむく動いたり、みんなで決めたエビカニクスも踊ることになり、くじら組オリジナルの「てぶくろ」をどんどん作っていき劇ごっこを楽しんでいました。そしてお客さんとして他のクラスの子たちが見に来てくれると、嬉しさと緊張の中で「どういう風に台詞を言ったら楽しんでもらえるか」を考え、大きな声を出す子や、「せーの」のかけ声で気持ちを合わせたり、ゆっくり喋ることを意識する姿も出てきました。

保護者の皆さんに見てもらえて子どもたちも嬉しかったと思います。ぜひご家庭で感想を聞いてみてくださいね。



お知らせ・おねがい

- ・2月よりお昼寝の時間を徐々に短くします。最初は30分程度起きる時間が早くなります。（開始日や起きる時間は子どもたちの様子や体調を見て判断します。）
- ・友達に喜んでほしい思いから、シールや玩具など家庭から持参して友達に見せたり渡したりする姿が時々あります。子どもたちにはプレゼントは保育園で作ったものにして、他の物はお休みの日や降園後に渡すように伝えました。ご家庭でも再度お声がけ、ご確認をお願いいたします。



2月の予定

- | | |
|-----|--------|
| 3日 | 節分 |
| 9日 | 身体測定 |
| 26日 | 避難訓練 |
| 27日 | 小学校交流会 |

